

会 员 会 社

純資産の部

XXXXX

1. 株主資本（資本）	XXXXX
貯 貨 本 金 （出資金）	XXXXX
12. 留保金	XXXXX
普通出資額金	XXXXX
資本準備金	XXXXX
13. 資本剰余金	XXXXX
資本準備金	XXXXX
その他の資本剰余金	XXXXX
員会社員会社	XXXXX
14. 利益剰余金	XXXXX
1. 株主準備金	XXXXX
2. その他の利益剰余金	XXXXX
（積立金）	XXXXX
利益剰余金合計	XXXXX
15. 自己株式	XXXXX
自己株式（割引）	XXXXX
他、自己株式（出資金）	XXXXX
自己株式準備金	XXXXX
16. その他有価証券取扱金	XXXXX
その他の有価証券取扱金	XXXXX
17. 構造ヘッジ損益	XXXXX
18. その他構造開発金	XXXXX
土地建物構造開発金	XXXXX
設備・機器等構造開発金	XXXXX
口 株式引受権	XXXXX
株式引受け	XXXXX
IV 新株予約権	XXXXX
新株予約権	XXXXX
純資産合計	XXXXX
員会社員会社	XXXXX

備考

1 「定期的預定資本」の仕組は、その償還割引率に応じて、その金額が

計算の基礎の100分の1を支えるものについて、当該資本を別示する科目を用いて、それで「そ

の定期的預定資本」、「その他の定期預定資本」の間に見切する事。

2 併存の黒字において、これが現に現いた料目に対するべき金額がないときは、当該料目の記載

を省略すること。この場合、「減損額料目」の次位の料目を、合算料目の位置にし直し、以降次第

り上げること。

3 金利掛取外公会、専門会員会及びかかる組合にあつては、預貸をやめた資産、貸出し

いて、投資者組合、委託貸付金、出資金及び年の利息費の料目を、合算料目の位置にし直して、[投資

の科目を用いて記載することができる。この場合の上記に、内債、営業外損益、開発会社

貢献額、減損額、長期預託費用、計画引当金用の欄に入らうこと。

4 「定期的預定資本」の仕組は、その償還割引率に応じて、その金額が

計算の基礎の100分の1を支えるものについて、当該資本を別示する科目を用いて、それで「そ

の定期的預定資本」、「その他の定期預定資本」の間に見切する事。

5 「定期的預定資本」、「その他の定期預定資本」の間に見切する事。

6 補助金等預金に記載すべきが、その他定期預定料を支度に見切る旨書のものであって、その全

額が貸付の総額の100分の1を超過しない場合は、それらを一括して「貸付の総額」の料口を開

いて表示すること。

7 「貯金会員預金」に記載する定期預金、立替金その他の定期預金で、その今期が貯金の成

績の100分の1を超過するものについては、当該の成績を示す料目を開いて「貯金会員定期預金」

の前に記載すること。

8 264行及び267行の場合は、貯金の本元に準用する。

9 貯金会員の定期預金を整理したときは、業務説明、決算に「定期預金の各口を開けた」と記し、その

整理した料口の開ける勘定の合計額にて記載すること。この

場合においては、借入預金又は貯金及び定期預金の合計の100分の1を超

える場合は、当該預金又は貯金の小口を開けてその開口を示す限り二枚

で記載した料口の前に記載すること。ただし、一括した本口に含まれる金額の目次が複数である

ときは、前段落のものに合せて記載しきことができる。

10 「報酬金賃金」と報酬金負担とかある場合には、その金額を構造税金差額又は報酬金負担と

して記載すること。